

毎月15日までの会費納入に、
ご協力をお願いします。

会計 山崎 孝亀

春日井民商だより

春日井民主商工会発行

TEL 0568-81-1482

FAX 0568-81-9756

<http://kasugaiminsyo.st1.jp>



3月中の商工新聞読者40名拡大にチャレンジしよう!



申告相談会では、会員の紹介で来場した相談者に、民商の魅力について語りました。

重税反対統一行動も終わり、いよいよ年度末です。コロナ禍がはじまって2年以上たちましたが、中小自営業者の営業と暮らしをめぐる状況は依然として厳しいままで、多くの業者から悲鳴が上がっています。経営不振などにより廃業し退会する予定の会員も多く、組織拡大待たなしの状況です。先週号でもお伝えした通り、春日井民商では3月末までに商工新聞読者の40名拡大を目標にしています。

商工新聞を拡大した人は、1部につきクオカード1枚を贈呈しますので積極的な組織拡大をお願いします。

東日本大震災から11年

一日も早い原発ゼロ実現を!!



福島県浪江町(左:2013年9月、右:2020年)

3月11日、東日本大震災から11年を迎えました。とくに福島県沿岸部では、世界最悪レベルの原子力事故となった福島第一原発事故による影響が深刻です。春日井民商では震災から2年半後の2013年9月に福島県を視察し、原発事故の恐ろしさを痛感しました。それから8年半を経た現在でも、帰宅困難区域が今なお残っている状況です。にもかかわらず、自公政権は原発に固執し、再稼働をしている原発すらあります。

いま、ロシア軍によるウクライナ侵略で原発関連施設が攻撃の標的にされたことが報道されています。万が一原子炉が爆撃で破壊されれば、福島原発をはるかに超える放射能による世界規模の大惨事となります。人類の生存を脅かす危険きわまりない蛮行です。

このような危険な原発と人類は決して共存できません。一刻も早い原発ゼロを求めていきましょう。

定期的な健康診断受診を!

みなさん、健康診断は受診していますか?

「結果が怖くて健康診断を受診したくない」という方もいますが、その結果取り返しのつかない状況になることの方がもっと怖いのです。1年に1回は健康診断を受診しましょう。

春日井民商共済会では、健康診断を受診した共済会加入者に以下のような助成を行っています。ご不明な点があればお近くの役員または事務所までお尋ねください。

健康診断・人間ドックを受診した共済加入者には…最高で3,000円

市の無料健康診断を受診した共済加入者には…クオカードを贈呈

胃カメラ検査・大腸カメラ検査を受診した会員と配偶者には…最高2,000円

※共済加入の有無は問いません

所得税確定申告の申告・納付期限は3月15日(火)、消費税の申告・納付期限は3月31日(木)です。

提出期限に遅れると無申告加算税や延滞税が課せられます。

事業復活支援金申請の相談については、確定申告終了後をお願いします。